

# 漢字の書体と字体—承前—

2018年7月21日 京都大学人文科学研究所

石塚晴通  
(北海道大学名誉教授)

書体：漢字の形に於て存在する社会共通の様式。多くは其の漢字資料の目的により決まる。楷書・草書等

字体：書体内に於て存在する一々の漢字の社会共通の基準

字形：字体内に於て認識する一々の漢字の書写（印字）された形そのもの

(石塚 1984)

尚、HNG の運用に当たり (2004-) 便宜

字種：社会通念上同一のものと認識され、一般的に音韻と意味が共通する相互交換可能な漢字字体の総合。

- ・ 楷書の字体標準の存在と其の字体標準の変遷を HNG に示した。
- ・ 楷書以外の書体における字体標準の存在を示すための方法論

【草書】石塚晴通・李乃琦・劉冠偉・鄭門鎬「書体と字体—真草千字文を例として—」(第 29 回「東洋学へのコンピュータ利用」、京都大学人文科学研究所、2018 年 3 月)

【行書】石塚晴通・李乃琦「行書体の字体—正倉院本「詩序」を例として—」(第 118 回訓点語学会、京都大学、2018 年 5 月)

- ・ 其の文献の全用例の字種毎の整理

【画像：正倉院本「詩序」の「之」445 例の検討】

楷書体の字体（7 世紀末当時）の字画の連続や其の角度より成り立つ行書体の字体標準の存在、4 例の例外は楷書体の字体標準の残存

【画像：同「龍」20 例の検討】

楷書体の字体に揺れのある部分については行書体も揺れを引継ぐ。

- ・ 其の文献の全用例のパーツ毎の整理 (CHISE IDS の応用)

【画像：国宝小川本「真草千字文」の草書体「亼」25 例の検討】

1 字体標準：「禾」「日」「ネ」「土」「女」「王」「金」「月」「冫」等

【画像：同草書体「言」25 例の検討】

2 字体標準（草体化の程度の差）：「宀」「广」「木」「才」「心」「食」「貝」等

【画像：「真草千字文」の草書体「宀」35 例及び「詩序」の「遊」36 例の検討】

パーツの連撃の筆順の差に起因して 2 字体標準

【画像：「詩序」の「於」182 例に例外ナシ】

・ 草書体・行書体に於ける真・楷書体の残存は、字種認定に困難を来していない（字種認定に困難を来す場合は残す）〔字体標準に優位する書体〕

・ パーツが同じであっても、書体変遷の年代・地域差を反映して文字毎に字体標準が異なるので、草書体・行書体資料についても HNG の如きデータベースを作成する必要がある。